

# だれもが思い思いに過ごせる美術館へ

## 2月8日(土)横浜美術館 全館オープン

### 横浜美術館リニューアルオープン記念展

## 「おかえり、ヨコハマ」開幕



撮影：新津保建秀

横浜美術館は、2025年2月8日(土)より全館オープンし、だれもが思い思いに過ごせる美術館へと生まれ変わります。

- だれもが無料でくつろげる「じゅうエリア」の拡充  
横浜美術館のエントランスホールである「グランドギャラリー」を中心とした空間を「じゅうエリア」と名付け、無料スペースの楽しみ方を大幅に拡充しました。
- 全館でさまざまな展覧会の開催  
横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」と新収蔵作品を多数展示するコレクション展を開催します。
- 横浜美術館の3年間の大改修を記録した映像作品をオンラインで公開  
アーティスト・コレクティブのSIDE COREによる映像作品「KAIROS/カイロス」をオンラインで公開します。

※詳しくは添付のプレスリリースをご覧ください。この機会に広くご報道いただければ幸いです。

本件についてのお問合せ先 \*本日は19時まで在席しております。

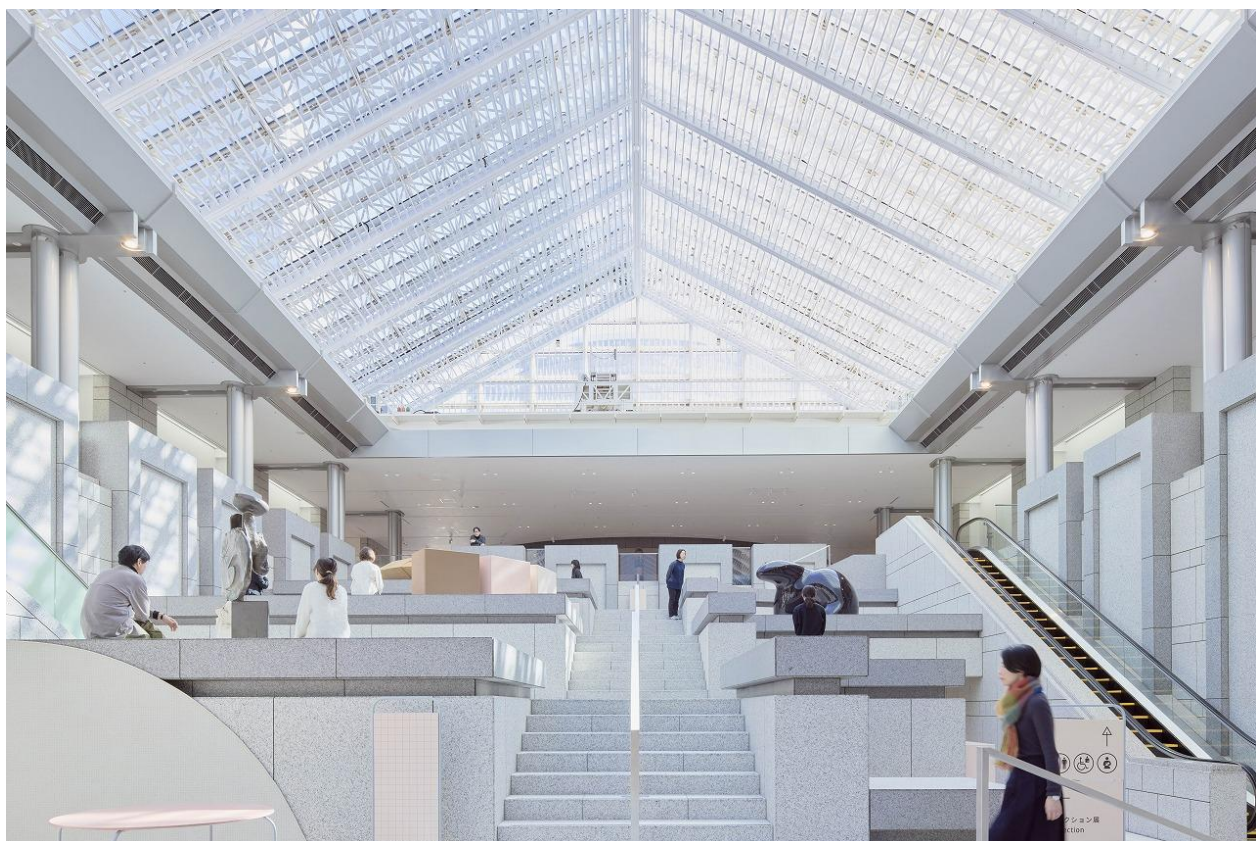
横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	担当グループ長	Tel 045-221-0368
	広報担当	Tel 045-221-0319
	熊谷	
	高橋	



2025年2月7日

## だれもが思い思いに過ごせる美術館へ

**2月8日（土）横浜美術館 全館オープン**  
横浜美術館リニューアルオープン記念展  
「おかえり、ヨコハマ」開幕



撮影：新津保建秀

横浜美術館は、2025年2月8日（土）より全館オープンし、だれもが思い思いに過ごせる美術館へと生まれ変わります。

- ・だれもが無料でくつろげる「じゅうエリア」を拡充しました
- ・全館でさまざまな展覧会を開催します  
横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」とコレクション展 ほか
- ・横浜美術館の3年間の大改修を記録した映像作品をオンラインで公開します  
SIDE CORE ×横浜美術館「KAIROS／カイロス」

**横浜美術館**





## だれもが思い思いに過ごせる美術館へ

### だれもが無料でくつろげる「じゅうエリア」を拡充

横浜美術館のエントランスホールである「グランドギャラリー」を、ここを中心とした空間を「じゅうエリア」と名付け、無料スペースの楽しみ方を大幅に拡充しました。

飲み物を飲んでおしゃべりを楽しめる「まるまるラウンジ」、小さなお子さんが家族と一緒に安心して利用できる「くつぬぎスポット」、大階段の彫刻作品のまわりで座って本を読むこともできるスペースなどを新設し、美術図書室もリニューアルしました。

展覧会を見ない方でも、ぶらりと訪れてのんびりと過ごすことができる憩いの場がひろがり、開放的な美術館に生まれ変わりました。



「くつぬぎスポット」  
撮影：新津保建秀

### 全館でさまざまな展覧会を開催

#### 横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」 横浜美術館 コレクション展

蔵屋美香（横浜美術館 館長）が企画する「おかえり、ヨコハマ」展では、アートを通して見えてくる新しい横浜の姿を描き出します。横浜の縄文時代から現代までを振り返り、開港前の人びと、女性、子どもなど、これまであまり注目されてこなかった人びとにスポットをあてます。横浜で発掘された土器や、本展のために制作された作品とともに、セザンヌ、ピカソ、マグリット、奈良美智など人気の当館コレクションも勢ぞろいします。大人も子どもも楽しめる「子どもの目でみるコーナー」も必見です。

同時に、横浜美術館が所蔵する作品をさまざまなテーマで紹介するコレクション展を開催し、無料のスペース「じゅうエリア」でも彫刻など多数の作品を展示します。

会期中は、家族と一緒に美術館を探検する仕掛けを用意しています。また、トークやツアーなど関連イベントも多数実施します。



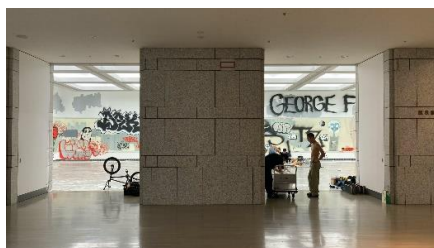
左図版：《人面付土器》（鶴見区上台遺跡）【部分】 弥生時代後期 H32cm 横浜市歴史博物館蔵（神奈川県指定重要文化財）  
右図版：ルネ・マグリット 《王様の美術館》【部分】 1966年 油彩、カンヴァス 130.0 x 89.0 cm 横浜美術館蔵

### 横浜美術館の3年間の大改修を記録した映像作品をオンラインで公開 SIDE CORE ×横浜美術館「KAIROS／カイロス」

横浜美術館の改修前後の内部空間や、美術館の引っ越しの様子など、工事囲いに閉ざされ、眠る美術館の舞台裏を、3年にわたり360度カメラで記録したアーティスト・コレクティブのSIDE COREによる映像作品です。

改修時の美術館内で展開された菊地良太、コムアイ、TOKYO ZOMBIE、森山泰地らアーティストやミュージシャンによるパフォーマンスも記録されています。

リニューアルオープンを記念し、オンラインで公開します。



《KAIROS／カイロス》より、2021-2025年、ビデオ



〈新しい「施設」と「企画」の紹介〉

## だれもが無料でくつろげる「じゅうエリア」

- ・まるまるラウンジ
- ・くつぬぎスポット
- ・彫刻の近くで座ってくつろげる大階段
- ・無料のギャラリー
- ・美術図書室
- ・カフェ、ミュージアムショップ

## さまざまなテーマで開催する展覧会

### 横浜美術館リニューアルオープン記念展

「おかえり、ヨコハマ」 2025年2月8日（土）－6月2日（月）

### コレクション展 2025年2月8日（土）－6月2日（月）

「新収蔵作品特別展示 ―― 浅井裕介《八百万の森へ》」

横浜の各地から集められた土を絵の具として用い、土とは思えない豊かな色彩で鹿やへびなどの動物、植物、人が描かれた大作は「多様な人／もの同士の繋がり」を象徴する作品。

### 「新たにむかえた作品たち ―― 生活・手仕事・身体」

身の回りの出来事や身体をテーマにした女性アーティスト、手仕事の創作や性差の問題に取り組んだ男性アーティストら、1980年代と2010年代を中心に現代アート作品を紹介する。

### 「ひっくり返す・ひっくり返る」（無料）

美術館や現代アート初心者におすすめ。あたり前の風景や物、制度などを“ひっくり返した”作品たちを紹介する。そうということか！と新たな気づきが満載の展示。

### 「ガラスとひかり」（無料）

美術館初心者におすすめ。思わず「おお！」と声をあげてしまうほど、陽の光が差し込むガラス張りの展示室の中で、表情をかえるガラスの作品が楽しめる。

### 展示室以外の「じゅうエリア」で鑑賞できる作品（無料）

### 横浜美術館リニューアルオープン記念 オンライン作品（無料）

SIDE CORE×横浜美術館「KAÏROS／カイロス」 2025年2月8日（土）－2026年3月31日（火）

## イベント

ギャラリートークや講演会

横浜美術館リニューアルオープン記念 トーク&ワークショップ「新宮晋の世界」

## 子どもや家族が楽しめる展示や仕掛け

子どもや家族と一緒に楽しめる展示やツール、イベントなどを用意しています。

「子どもの目でみるコーナー」

「こどもミッションシート」

「ビビッと！びじゅつ探検カード」など

## 限定販売「横浜美術館パスポート2025」

### これからの展覧会 [横浜美術館リニューアルオープン記念展]

2025年6月28日（土）－11月3日（月・祝）「佐藤雅彦展 新しい×（作り方＋分かり方）」

2025年12月6日（土）－2026年3月22日（日）「日韓現代美術展（仮称）」



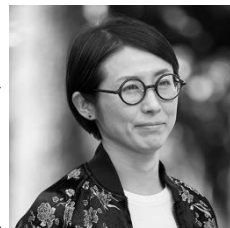
〈リニューアルの概要〉

## 「じゅうエリア」のリニューアルに関わったクリエイターたち

### 空間構築、サイン計画

**乾 久美子** (いぬいくみこ) / 建築家・横浜国立大学大学院Y-GSA教授

設計者・丹下健三が使った御影石に埋め込まれているさまざまな色を抽出し、オリジナルの什器をつくりました。横浜美術館の特徴である巨大な天窓が修復されたことをいかし、自然光の下で石の色と什器がお互いに引き立てあい、和らいだ雰囲気が漂う場所を目指しました。入ってすぐ正面の「まるまるラウンジ」にはいろいろなサイズのテーブルと椅子を揃え、ひとりでも、みんなでいても居場所と感じられる場所になればと考えました。また、ユニット化した什器はシーンにあわせて組み合わせが変更できるようにしています。什器の制作にあたっては、さまざまな障がいのある方たちと共にインクルーシブワークショップを実施しました。原寸大のモックアップを試しながら知見を得るといった貴重な機会がなければ生まれなかった家具もありますので、ぜひお楽しみください。

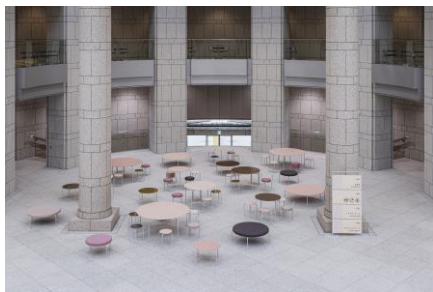


### 空間構築、サイン計画、リニューアルロゴ

**菊地 敦己** (きくち あつぎ) / アートディレクター・グラフィックデザイナー

サインやポスターなどのグラフィックデザインを手がけています。また乾久美子建築設計事務所と協働して空間のデザインにも取り組みました。新しい美術館を立ち上げるのとは違い、既存の美術館建築やこれまでの活動を捉えた上で、どのようにアップデートしていくかが課題でした。グランドギャラリーの階段は片側が四角、もう一方は丸をモチーフにした空間が特徴的です。新しいマークは、既存のマークの四角を同じ面積の丸に置き換えたもので、隙間がある風通しの良い組み合わせになっています。もともと存在する形が変化して、ひらいていく。このことは、横浜美術館がリニューアルで目指していることの象徴でもあります。また、「YOKOHAMA MUSEUM OF ART」などのタイポグラフィにも、四角と丸を組み込み、違う形やイメージが同居しながら調和することを目指しました。

展覧会を観に行くのはもちろんですが、グランドギャラリーで待ち合わせしたり、お茶を飲んだり、ぼーっとしたり、横浜美術館が公園のように身近な空間として、ひらかれていくことを期待しています。



©morinakayasuki

### 横浜美術館 開館情報と観覧料

【開館時間】 10時～18時 (入館は17時30分まで)

【休館日】 木曜日 (ただし3月20日 [木・祝] は開館)、3月21日 (金)

【観覧料】 **横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」**

コレクション展も入場可 (「おかえり、ヨコハマ」展の観覧当日に限り)

一般：1,800 (1,700) 円      大学生：1,500 (1,400) 円      高校・中学生：900 (800) 円  
小学生以下：無料

#### 「コレクション展」のみの鑑賞

一般：500 (400) 円      大学生：300 (240) 円      高校・中学生：100 (80) 円  
小学生以下：無料      ※毎週土曜日は、高校・中学生は無料

※ ( ) 内は有料20名以上の団体料金 (要事前予約、美術館券売所でのみ販売)  
※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方 (1名) は無料

【お問合せ先】 横浜美術館 広報担当 (高橋、熊谷)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1 TEL : 045-221-0319 FAX : 045-221-0317 Email : pr-yma@yaf.or.jp